京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六二)
發行所 京城新報社

雜報

國士金玉均氏(七)

國王に上りし書(承前)

我が國家の存亡を論ずる痴人の夢を說くが如きは決して怪むに足らざるなり勢已に斯の如し殿下何等の策ありて亡國の主たるを免れんとするか殿下の腹心股肱たる者知らず何等の策ありて殿下の爲に國家の安寧を保たんとするか今日は徒に眼前の快樂に偸安す可きの時に非ざるなり且夫れ清國日本は朝鮮の國事に干渉して自ら保護の責に任ずるが如しと雖ども巨文島を回復して朝鮮の爲め封物を全うする能はざるは何ぞや向後又外國の爲に他港を奪はるゝ事あらば知らず殿下は如何せんとするか清國は何等の方法を以て之を救援せんとするか臣聞く清國は嘗て我國に告げて曰く英國は屬邦領土甚多くして別に我國を經營するの暇あらず曾て當時將に魯國と交戰せんとするの勢ありしを以て止むを得ず一時巨文島を占領したる者なれば毫も朝鮮國の爲めに憂ふべきに非らずと當時臣此言を聞き中心竊かに忿懣に堪へず夫れ英國が魯國と交戰の事あるを恐れて一港を占領すれば魯國も亦英國と交戰の事あるを恐れて一港を占領するや火を觀るよりも明かなり幸にして天下無事英魯の東洋に相爭ふことなしとするも殿下試に身を英佛獨魯の君となして之れを思へ若し茲に一の國あり我れ之れを取るも毫も抵抗する者無きに於ては殿下果して之れを如何せんとするや今日の朝鮮は即ち之れなり然るに在朝の諸臣徒に一策の國家を推持する者無く唯賣官賄賂を事として平民を殘虐し人を信ずるに賢愚を問はず(略)

又李鴻章が日本政府と約し刺客を送りて臣を害せんと謀り而して日本政府は之れを傍觀して妨げざるのみならず却て其刺客を保護せんとするの狀あることは其證蹟已に明瞭なりと云ふ者あれども臣は之れを信ずる能はず何となれば假令日本政府をして曩に朝鮮の事に干渉せしを悔い臣を殺して其口を緘せんとするの意あらしむるも堂々たる一國の政府にして斯の如き兒戯に類するの條約を爲すことは無かるべし李鴻章と雖ども亦一國の大臣なり豈叨りに輕匆笑を招くべき事を爲さんや蓋し袁世凱輩の小兒只管ら己れの功利を求むるに急にして叨りに殿下を欺かんとするに發したる者のみ殿下幸に其術中に陷ることなかれ(未完)

條約改正と關税

帝國政府が去る十七日附を以て歐洲各條約國に對し一ケ年後の現行條約廢棄の通告を爲すと同時に新條約の締結に着手すべき旨夫々當該帝國大公使に電訓したるは既報の通りなるが其後彼我兩國間の都合上早くも新條約締結の交渉を開始したるは英國並に獨逸にして其他の關係列國に向つても暑中休暇後には交渉を始むるに至るべし其の大体の方針と要綱とは條約改正委員會の議に基き小村外相より夫々電命する所ありたるが關税に就ては關係國に於て協定に據らざるものゝ外擧つて國定率に準據せしむる方針にて既に治外法權撤去後尚ほ我のみ偏務的に協定率を用ゐ來りしものは新條約の成立と共に全部改正せらるべく輓近我國勢の漸進に伴れ結局之れには各國共大なる異議なかるべきが協定税率に關しては其率の適用に就き多少の議論は免れざる可しと

列國鐵道の近狀

最近鐵道院に於て調査したる列國鐵道の近狀を聞くに營業哩數に於て米國は一頭地を拔き二十萬二百哩の延長に達し第二を占むる露國は遙かに下り漸く三萬八千餘哩に達し獨逸、印度、佛國、墺國、英國、濠洲、伊國、日本、白耳義の順序なるが本邦の下位にあるは白耳義一國のみにして米國に比すれば實に四十分一に過ぎざる幼稚なるが前記各國の收入額を見るに營業哩程にて最大なる米國が最大なる收入を見るは當然なるも延長哩に於て第七位にある英國の收入第二位を占むるは交通の發達上研究に値すべし而して本邦の鐵道は營業哩程の最下位にある白耳義よりも收入の劣れるは是又研究を要する所なるべし

韓國溫泉所在地(中)

鐵道管理局調査

江原道

平海郡 溫泉
郡邑の西二里六合白岩山下所臺谷と稱する所に在り

高城郡 溫泉
郡邑の西北三里二合の地に在り世祖十二年關東を巡幸した際を此に駐む附近勝地に金剛山、十二瀑布、楡岾寺、成佛庵、夢泉寺、鉢淵寺等あり

蔚珍郡 溫泉
郡邑の北周山里に在り

伊川郡 仇里項溫泉
郡北八里に在り

同郡 寺洞溫泉
郡北九里九合、正統六年世宗命じて行宮を造る七年春此に臨幸、其後燒失

咸鏡道

永興郡 潭泉
郡邑の東一里半に在り微温鹹浴

鏡城郡 錐峯溫泉
郡邑の西三里四合

同郡 雲加溫泉
郡邑の西十一里

吉州郡 大箇洞溫泉
郡邑の西五里許

講談

大岡政談 越後傳吉

第三十八回 旭堂南陵講

是から二人で佛壇の前へ來て、抽斗を開けて盗み出した百兩の金子と證文に櫛 早『ちやア直ぐに宜いかね、松崎へ 庄『ヨシ心得たツ』打首肯た庄藏後白浪と飛び出す、殘つたれ早は何にも知らぬ顔して床へ這入ると其儘狸寢入り……さて曉の鐘鷄の聲、晨起きをするが百姓の慣習ですから、幾ら安心をして寢入たつて朝は早く眼が覺める、傳吉『れ梅や、れらア早う起して濟まんが宵寢して居るだから起きなさい、私ア何うしたつて朝寢が出來ねれ 梅『昨夜はれ前さんが戻つたものだから、昂々と安心したんだね、妾グッスリ寢込んでしまひました』傳吉起上つて納戸の戸を開き 傳『阿母さんれ早うございます、れらア早う起して濟みません 早『ナーニ傳吉どん、何時も早いのだけど昨宵ばかりは、ソレ枕許に金子があるものだから宵の間は何となしに寢られなくつて、夜明方になつて漸とトロ／＼寢入つたものだからね……アラ傳吉どんッ 傳『阿母さん、何でがす 早『れ前何かれてのれ佛壇の抽斗を開けましたか 傳『アレ私ア唯た今起きて此處へ來たばかりで…… 早『マア一寸見なさい抽斗が開いて居るぢやアないか 傳『エーッ』傳吉の驚きは一通りでない、我を忘れて佛壇の抽斗へ飛掛り中へ手を入れた 傳『オツ、オツ阿母さま、れ金子も、櫛も證文も皆なございませんよ 早『マア……傳吉どん、大變い事になつたね』婆さんも抽斗を易で呆れた様子、今更抽斗を拔いて叩いて見た處で在らう道理がない 早『傳吉どん、大變い事が出來ました、それではれ前をば大田切小田切で尻げた筑波新入といふ旅倫盗が道中で仕事を仕損なつたもんだから、れ前の後をこの家まで尾けて來て、屹度昨夜奪つたものに違ひない、妾は夜半は何度か眼が覺めて寢なかつたが、夜明けにトロ／＼ッと寢ましたから、その間に大概盗られた仕事に違ひないヨ傳吉どん 傳『阿母さま、彼のれ金子がなくなりましたら、私ア一命がなくなつたも同様でございます 早『オヽ、證文と櫛もなくなつて居りますか 梅『さうですよ、皆んな無くなつて居ります 傳『ハイ阿母さん、正金でおでがすが、櫛と證文まで持つて行かれまして爾うできない中村屋さんに預けて置いた二百兩の金子を取付けられては成りませんから、私やアこれから中村屋さん所へ駈けて行つて、二百兩の金子だけ止めて參りますから 早『傳吉どん、早う行つてれ呉れ、れ前の不守の間に妾はナ、庄藏さんを頼んで置く、彼のれ方は目明しがれ役だに依つて調査は巧いさうだから、彼の人を頼んで調べて貰ひます 傳『ハイそれぢやア私は早く行きます』我を忘れた傳吉は草鞋を穿く間もあらばこそ、そのまゝ松崎を望んで韋駄天走り、後に殘つた二人は互ひに顔を見合つてペロリと舌…… 梅『阿母ア、巧く行つたね 早『何をいつたッて對手は薄惚間の芋ッ堀りだ、今頃は庄藏さんが貳百兩の金子を取つて此方へポッ／＼戻つて來る時分だ 梅『馬鹿野郎顔の色を變へて居たね 早『それは仕方がないつて可愛想だね』此方は傳吉、宛然弦を離れた矢のやうに宙を飛んで參つた松崎の中村屋、大きな旅籠屋ですからモウ悉皆と掃除が濟んでしまつて、中村屋の主人帳場格子に座り込んで居る所へ、バタ／＼バタ／＼と飛び込んだ一人の男 與『何誰ですね、其所へれ倒れになつたのは、れ仙や、誰か表へ駈け込んで倒れた人があるやうだよ 仙『アレ……賓田村の小旦那 與『ナニッ小旦那ッ……、何うしました、小旦那、確り／＼れ仙や水を持つて來い、モシ小旦那何うなさいました 仙『小旦那へ、何うなさいました確乎なさいましよ、れ水を…… 傳『ハ、ハイ二……二百兩ッ……二百兩はございますかのう 仙『阿父さん、那な事をいつて居られます、二百兩はございますかのうと…… 傳『私等れ預け申した、彼の二百圓の金子はマダございますか 與『ヘエーイ、小旦那、マダございますか、ヘエーイ、マア御覧なさい、氣を靜めなくちやア可けませんせ水を飮んで氣を靜めて、ヘイまた受取つたまゝ帳面の上に乘つて居ります、サア御覧なさい、ソレれ前さんに渡した證文、それかられ仙の櫛……





東京電報

●陸軍縮少の議 日英同盟日露協約之に加ふるに日露協約締結せられ東洋の天地先以て靜穩に歸し我國も大陸的陸軍の設備を要せざるに至り勿論今や現在の師團を減縮し[illegible]に盛んにして此節約方法に關し種々云爲する者も多ければ次期議會に於て政府の現狀維持說に對し激烈なる反對を生ずべし(三日)

●外國貿易總額 本年一月より七月末日迄に於ける外國貿易總額左の如し(同上)

輸出額	二四六、八五二、〇〇〇圓
輸入額	二七五、三三七、〇〇〇圓
差引輸入超過	二八、四八二、〇〇〇圓

●日英博の辯明 日英博覽會は失敗に終りたりとの世の批難に對し外務當局は辯明して曰く今回の博覽會は兩國交誼上に及ぼしたる効果は大にして[illegible]其利益に關する問題の如きは深く論ずる[illegible]表すべく且つ今後外債の募集に就て[illegible]於て行はるべしと(同上)

●暑中休暇廢止 前議會の問題となりたる裁判所の暑中休暇廢止の件は政府に於ても大體に於て同意を表し居るも裁判所構成法との關係あるを以て[illegible]ざりしが來るべき行政整理に於て決行さるべし(同上)

●法典編纂打合 韓國法典の編纂に就き打合を要する件生じ近日法制局より特に人を韓國に派遣す(同上)

●金融益々緩慢 政府は來年二億五千萬圓の國債償還を行ひ一億六千五百萬圓の大資本を民間に放資したる結果金融界は未曾有の大緩慢を持續し來る事日本銀行は前後二回の金利引下を行ひ其大勢に適合すべく努めたるにも拘らず[illegible]より無制限預金五千三百萬圓の巨額に達し益々緩慢の度を加へ近く九月末には三千四百八十萬圓の民間[illegible]復還せんとするに至り[illegible]に於ては又々預金利子を低減せるに至れり(三日)

●日佛間と厚情 日佛の厚情は愈々密となり日露協約によりて東洋の平和を確立したる結果佛國の[illegible]を得ると同時に我國に對する厚情を深くし且つ東洋の平和を確立したる結果佛國の放資は我が國に行はるべしとの報其の筋に達したり此の勢を以てせば今回の條約改正も同國は最も好意を[illegible]

●爆發の探査員 (有珠山) [illegible]加藤技師其の他衛不[illegible]旨東京地學協會に電報し直ちに有珠山下紋別の否を問ひ合せたるに大[illegible]技師、大井上技師皆無事[illegible]ありたり(同上)

●拓殖局の方針 拓殖局來年度豫算に就て種々[illegible]先づ總裁副總裁を始め來年度より專任者を置き事務を處理し同時に臺灣樺太韓國關東州各方面に對し殖民其の他の事業に統一度を爲す計劃中にて夫々參考資料を蒐集調査中なり(同上)

●鐵嶺丸搜索難 大坂商船鐵嶺丸遭難に付き遞信省に達したる電報に依れば鐵嶺丸遭難の地は小潮の際に於て潛水し得るも右は天候の好き日ならでは作業を爲す能はず然るに十九日以來天候不良の爲め搜索する能はず大浦丸は一時搜索を中止し内海の搜索に努めたるも何等有力なる材料を得ず

●子爵議員の補缺 詔書を以て來る十月一日子爵議員一名補缺選擧を命ぜらる(同上)

伯林電報

●清政府移民策 露都電報によれば清國政府は[illegible]を奬し西清に移民の增加を計り移民隊を編成せりと

●墺帝臨幸中止 墺太利[illegible]皇帝臨幸の儀目下同國に於て馬疫流行の爲め中止せらる

●土耳其外交關係 土耳其皇帝は英國と直接外交關係を結ばんとすと傳へらる(三日)

京城電報

●統監歡迎の模樣 在京城官民の統監歡迎會は既報の如く三日午後三時より京城ホテルに於て開會せり當日統監の來會に至るや煙火數發を相圖に開宴し午後四時食堂を開始し[illegible]長は來會者を代表して歡迎の辭を述べそれより統監の挨拶ありて統監の萬歲を三唱し[illegible]當日正賓としては副統監、有吉總務長官、明石憲兵司令官及び統監府各局長[illegible]主にして來賓の主なるは大久保大將、橋永中將外官民三百餘名なりし因に寺内統監が歡迎の辭に對し述べられたる答辭左の如し

本日は私共が來任につきまして山縣副統監と私との爲めに斯く盛大なる宴會を催されたることを光榮として感謝します私共は今回の任命を受けましたに就ては唯君國の爲めに報ずるの考の外はありません私共の爲さんとすることが諸君の御希望に全然副ふや否やに就ては私が恐惶して居る次第であります又私共の任務を果すに就ては直接間接諸君の御援助を請ふ次第であります而して此國民を指導啓發するに就ては其官たると民たるとを問はず先進國民として品格を保ちて各從事する處に忠實に勤むるやうにしたいと思ひます聊か歡言を述べて本日の御禮に換へます

北京電報

●濤貝勒の歸着 清國陸軍視察團長濤貝勒は[illegible]日無事北京に着し朝野官民の出迎盛大を極む(三日)

紐育電報

[illegible]に於て起れる人種的爭鬪の結果黑人の殺されたる者十八名なり(二日)

●韓民退去の眞相 (問題) 奉天省にて水田を耕作しつゝありし韓民が錫總督より突然退去を命ぜられたるは既記せしが元來奉天省の清國農民は水田を耕作することなく排水せば立派の水田となるべき場所も池沼として放棄する習慣なるを以て水田の利益を知れる韓民は何時の間にか入り込みて清人の放棄したる池沼を耕して水田となし數年若くは十數年間耕作し來りたるも元來所有者の存在せざる地積なれば苦情の起るべき筈もなく又清國の不文法として此の如き地積を開拓したる時は地上權は開拓者に歸する事となり居れば官憲も之を咎めず却つて招致する風ありしを以て是等韓民は遺利を得たる心持して永久耕作の覺悟を爲し居りたるものにて其の個所は九連城、五龍背より奉天附近遼西等各所に散在し居れるが斯く久しき間所有權を承認したるに拘はらず諮議局の建議に基き非開放地を名として退去を命ずるに至りたるは其裏面に利權回收其他日韓の關係上排日思想の伏在し居るは云ふまでもなけれど開拓の功は沒すべからざる上に所有權を稱ふ事となれば愈々清國政府にして退去を强ゆるに至らば當然賠償の責に任ずべきものにして其の之を爲さゞるに於ては又々日清の交渉問題となるべしと云ふ

●隆熙號事件の嘆願 韓政府所有船隆熙號沈沒事件は度支部の組成せる海事審判官に於て遂に不可抗力に非ず全く船長の過失に基くものなりと斷定されたるは既報の如し而して該船は其船名隆熙と稱せらるゝより由來御幣擔ぎの弊ある韓人等は此沈沒を以て甚だ忌む可き讖を爲せるものなりとて種々の噂を立て居れるが事實不可抗力に非ざるものと確定したれば其損害は約定の如く操船當事者吉田秀次郎氏より辨償せらるべし隨て韓政府に於ては實質上何等の損失を蒙らざるに到れり就て右辨償金額は六万三千圓にして隆熙七年より十箇年賦を以て償却する筈なるが一方吉田氏より見れば韓政府へ返還すべく釜山へ回航中其前夜の出來事にて情狀大に諒察すべきものあり且つ過失の遭難と斷定されたる爲に保險金も全部領得する能はず僅かに二萬餘圓を得たるのみなれば差引四萬餘圓の損失を負荷せざるべからず旁々同氏は過日態々上京して此場合是非寛大なる詮議を乞ひ該十箇年賦を十五箇年に延長せられたき旨嘆願書を提出せりと

●國境の通貨と徵税 鴨綠江沿岸楚山以南は清貨の勢力最も[illegible]貨は紙幣及補助貨を合するも僅かに三分に過ぎざるを以て國境附近は自然清貨本位の奇觀を呈し韓貨は一部の公廨[illegible]個人間に流通するのみ由來國境は清國[illegible]支配に甘んぜざるを得ざるの狀況なりとす故に徵税の時期に於ては十數里遠き所に兩替の爲めに出懸けざるを得ず隨つて納税の期を誤るもの多きに付き[illegible]一策なるべし

●排日新聞論調一變 在外發行の韓人排日紙たる布哇の新韓國報桑港の新韓民報浦鹽の大東共報ありて共に激烈の言論を掲げ危險思想の鼓吹に努めつゝあるが從來は日本人を目するに[illegible]なりと爲し大韓帝國の爲めに之を屠り去るべしなど喧ましく徒らに騷語を逞ふせしのみなりしが近頃は其論調大に變化して彼の浦港發行の大東共報の如きは頻りに臥薪嘗膽を叫び居れりと而して其論調稍々變化と共に相互火花を散らして相戰ひ宛然同志打の滑稽を演ずる事屢々ありと云ふ

●統監夫人令孃參内 寺内統監夫人多喜子及び同令孃末子は三日午前十時三十分馬車に同乘昌德宮に參内して皇后及び嚴妃に謁見されたり右は過日御陪食仰付られし御答禮の爲なりと皇后には謁見の際御叮嚀なる御挨拶あらせられ統監夫人及び令孃に對し精巧なる刺繡の朝鮮製袋二個宛を下賜せられたり因に兒玉伯夫人には微恙の爲め參内せざりしと

●義州道路改修工事 豫て設計變更の爲め工事を中止し居たる新義州義州間の新道路計畫は數日前内部より認可ありたるを以て愈々去る三十日より新設計に基き工事を開始したるが新設計は舊設計に比し道路二百間以上を短縮し且つ勾配の如きも以前は最急勾配三十度即ち十間に對する二尺なりしを四十度即ち十間に對する一尺五寸の緩勾配と革めたりと

●義州の夏期講習會 學部主催の平安北道管内普通學校教員夏期講習會は去る七月二十一日義州普通學校に開催したる以後教育學及教授法は古市教監實業科の果樹及桑樹栽培法家蠶及柞蠶飼育法、作物病虫害等は細田技手擔任し日々出席者四十五名其他數名の傍聽生あり一名の欠席する者なく何れも熱心に聽講しつゝあり成績頗る良好なりと

●汲水夫暴行の尻押 平壤に於ける汲水人夫が度々紛擾を惹起することは世人の既に知る所なるが汲水人夫が斯く度々屢强く暴行する所以は同地に居る某日人辯護士が爲めに煽動する所ありて煽動することゝ判明したれば其筋に於ては近日斷乎たる處分をなすべしと云ふ

●東京帝大と朝鮮科 現任文部省視學官文學博士幣原坦氏は近々東京帝國大學文科大學教授に榮轉し朝鮮科擔任に内定したる由元來氏は朝鮮史に關する論文の提出に依り博士の學位を授與されたる人にして朝鮮史學に就ては目下斯界のオーソリチー也と

●江原道地方喜雨祝 江原道通川郡地方に於ては稻の植付時季に水不足にて田植する能はず苗は殆んど枯死せんとしたるに過般來の降雨の爲め全部植付を終り現今の狀態を以てすれば稻は平年作より一割減の見込みにて畑作は又非常に上作となり且つ水害の爲め人畜に被害もなかりしを以て農民は喜雨の祝を爲したりと

●副統監以下を招宴 米國總領事は二日午後六時三十分山縣副統監を正賓とし有吉總務長官、小松外務部長同夫人、外波武官同夫人を陪賓として晩餐を饗し主客歡を盡くして午後八時退散せりと

●統監の總領事招待 寺内統監は三日午後六時より入京中の間島總領事永瀧久吉氏を統監邸に招きて晩餐會を催し間島に關する最近の事情を聞くと云ふ

●日下大痴師の講演 西本願寺大學教授日下大痴師は去る二日夜仁川日本公園にて佛教講演會を開きしが尚ほ三日は仁川署にて各警官に對し一場の講演を試みしと

●兩社發行停止さる 二日發行の朝鮮日報、日韓電報通信は其筋より治安に妨害ありと認められて發行停止を命ぜられたり

●趙農相の總長訪問 農商工部大臣趙重應は二日午後六時三十分明石警務總長を倭城臺の官邸に訪問せられたり

●門脇校長の來仁 仁川入港の香椎丸にて佐賀縣立商船學校長門脇觀次郎氏唐津より來仁旭屋に投宿したりと

●佐竹書記官移轉 土地調査局書記官佐竹義準男は四日西小門外關税局官舍元野村氏邸へ移轉せらるゝ筈なりと

●國境貿易の近況 近頃其筋に達したる滿韓國境貿易の近況に曰く國境兩國民の經濟社會に於ける地位は著しく懸隔を生じ清人は經濟力を發展扶殖し居れるに反し韓人は愈々退嬰委縮し年々經濟界より驅逐せられつゝある狀況にして對岸に於ては安東縣を始めとし地方貿易の取引場は長甸河口、小蒲石河溝、大荒溝、石柱子、清藩江口、外岔口門子及楡樹林子を擧げ得るにも拘らず韓國領に於ては市場として數ふるに足るものを見ず實に荒涼寂寞たるものとす試みに兩者を對照すれば清人は向上心に富み韓人は退嬰雌伏す後者は米、大豆、高粱其他の農產物を生產するも前者は食鹽、燒酒、麻布、石油、燐寸等の商品を供給する商人なれば益々其區域を擴張し進んでは遠く韓國領の内地に入り到るところ足跡を印せざるなく盛に活動すると同時に一面又農產物を悉く一手に吸收し以て沿岸經濟界の覇權を握り清人の手を俟て各地に搬出販賣せられ又は製造品に仕上げて再び韓國領に移入する故此間韓人の蒙る不利益は非常なるものありと云ふ

●練習艦隊の入港 八代司令官の率ゐる練習艦隊淺間、笠置の兩艦は明五日軸艫相啣で仁川に入港し九日迄碇泊する豫定なるが右八代司令官は日露戰役の際月消き牙山灣頭にて得意の尺八を吹奏し風流艦長の美名を唄れたるの人にして尚ほ民團にては例年の如く同艦隊に對し歡迎の意を表すべく協議中なりと云ふ

●南韓將來の好望地 全南麗水地方に出張せる朝鮮海水產組合理事入江政藏氏の談に曰く▲麗水の官公署 現下麗水に於ける重なる官公衙は財務署、郡衙、警備所、郵便所、巡查駐在所等にして近き將來には順天より警察署移轉の計劃あり又農工銀行支店の如き金融機關の圓滑を計らんと同地有志は運動を試みつゝあり而して近く新に區裁判所の新設を見るべく同地は多方面に向つて益々發展の域に入りつゝあり▲邦人と韓人 麗水城内外に居住する韓人商賈人のみにて七十餘戶此の人員實に二百三十名又邦人の經營する宿屋料理屋等總數八軒之に從業せる婦人三十餘名とは又驚かざるを得ず▲交通機關 釜山との交通連絡は頗る便利にして多く釜山汽船慶榮、宗信、第一宮津、第二宮津の四隻合同汽船の米子、錦江、松江浦丸等各一二隻づゝ常に出入せざる日なし而して順天より麗水迄九里の間は三間幅の道路を開修することになりたれば麗水は又各方面に向つての發展は疑ひなき所なり▲移出 昨四十二年中該地より各地に輸出せるは綿の六万圓を筆頭に米の三萬圓大豆の二万圓は其最も重なるものにして昨年の如き藥徒の被害多き時代に於て斯くの如し本年の好望なる又豫想するに難からず▲漁業 は重に鯛、鰆、鰤等にして東京より荒木技師渡韓鰤の罐詰製造に從事しつゝあり又愛媛縣よりは上田某なるもの來り鯛、はもの蒲鉾製造を經營しつゝあり之れ又相當の利益を收め居れり▲要するに麗水の發展は日進月歩實に驚くべき趨勢を以て進歩しつゝあり近き將來には實に南韓に於ける一大樞要地となるや疑ひなしと云ふ

●最近海藻輸出狀況 木浦地方の夏期重要產物たる海藻の輸出狀況を調査するに昨四十二年度に於ける輸出總額は七十一万九千五百四十一斤にして其價格は三萬二千五百五十九圓に上り此等海藻は異布海苔、海苔、天草、銀杏草、櫻草等にして毎年四月中旬より十月下旬に亘りて沿海各地より同地に廻着せられ六月の候を以て輸出の最盛期となし昨年六月末迄の輸出總高四十七萬八千八百五十六斤なりしあり然るに本年度に於ける輸出は頗る不況にして六月末迄の輸出總高十五萬三千六十三斤價格八千九百十二圓にして昨年同期に比し僅かに三分の一の輸出を見たるに過ぎずと云ふ

●仁川韓人市場開設 仁川桃山下韓人市場設置に就きては極力準備中なりしが既に掛小屋其他の設備悉皆整ひしを以て愈々來る六日より開場せらるゝ筈なり

●佛國軍艦仁川拔錨 仁川碇泊中なりし佛國軍艦デシデー號は三日午前十時解纜せり

公人私人

▲上林敬次郎(度支部參政局長) 二日平壤より入京京城ホテル投宿

▲若松兎三郎(平壤理事官) 二日平壤より入京巴城館に投宿

▲中島鋭二(帝國大學工科大學教授) 二日平壤行

▲遠藤裕(光州地方裁判所檢事) 二日平壤行

▲日下大癡(佛教大學講師) 二日仁川

▲小田三郎(明治生命保險會社員) 二日仁川行

▲饗庭正一(英米烟草會社員) 二日仁川より入京巴城館投宿

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
三日	一三三、〇九七、六五	二八八

●龍山通信 (三日支局報)

▲炎熱熾ぐが如き日に懸命の働きする人々は一週に一度乃至は月に幾度の休暇には水邊か樹蔭か何れは清風を尋ぬるべし處が京城龍山に於ては南山の松の下蔭も妙で無しと漢江の河面擴づる涼風を慕ひ寄るが多きに肝腎龍山の河岸には久留米漁獵團の貸船か有るのみにて水游など爲んにも何の設備も無し設備も無きにウカと飛込みでもしやうものなら如何なる災難を被やらも知れず今夏に入てより既に二三人の溺死者を出せる程なれば注意せでは叶はぬ事なり然るに皆な出來る丈けの注意はするに相違なきも每年溺死の絶へざるは要するに水泳場の設備無き爲めなれば今の儘ならば警察にて水泳を差止むるが可しと云つて差止められては甚だ困るなり困ればとて龍山では手出しする人は無き樣なり京城にて之れ有るまじきや一寸伺ひたし

▲龍山漢江河岸の埋築會社は其發音も沙汰も聞へず依て怎うなりしか問合せたるに關係者の一人は最と困じたる面持ちにて何しろ内部の許可條件が埋築會社の利益を度外に措きて單に船着場を築かせんとからの設計なる爲め少々困却せりと云へり固より不景氣が云はせる理屈ならんも會社側の云ふ所も亦無理ならざるが如し

▲治外法權▼

▲同業大阪朝日は大隈伯の外遊を望んで居る、其論旨は伯を通じて我帝國を世界に紹介すべしと云ふので何人も異論のないところだ▲記者も伯の外遊を望むで止まぬものだ、特に列國との條約改正前に於て其實行を望むで止まぬものだ▲今や同盟國の英國や、我に對する債權國たる佛蘭西やが改正關税に就いて誤解をして居る樣だ、殊に米國に至つては[illegible]正に就いて我に與國に物のハサマツタ樣な仕打をして居る、此際我國實たる早稻田大伯が出掛けて其ドレツドノオト的廣舌を振ひ列國の誤解を解くは擴張以上の急務だ▲寺内統監や山縣副統監が評判の良いのは種々の理由もあるうが其第一は文王式吐哺の德を有するからだ、知らざるを知らすとせよ、之知るなりか寺内山縣共に吐哺の德を發揮すべしだ▲目賀田男曰く濟韓策の實行上政費の膨脹を來すは當然の事だ、母國國民は宜敷名譽ある負擔を甘受するの覺悟を爲すを要すと、名譽ある負擔とは追がに目賀田式の言顯しだ▲朝鮮問題同志會の五百木某とやらは此節やつて來て桂侯の内命だなど時世後れのクダヲヌ法螺を吹いて行つた男だ此男近日中にまた來るソウだが今度は何をしにか▲五百木某は何かの踏臺にでもする氣か京城記者團に接近を求める、併し記者團はアンナ小政治ゴロと何の關係をも持たぬ、斷つて置くが京城記者團は言はゞ新聞記者の同業組合で決して政治的團体ではない▲我京城に於ける公娼私娼の數は現在の處約三千人だ、之れ等娼婦が一日平均客一人をとるとして其平均消費高が金二圓とすれば實に六千圓だ▲一日六千圓は一箇月に十八万圓、一箇年に積れば實に二百十六萬圓と云ふ大金だ、中々統監府の豫算どころの話しヂャない。(記者)

●隆熙號船長の停職 釜山附近に於て座礁したる隆熙號の船長戸川孫四郎氏は該船舶に殆んど[illegible]るに至りたるは職務上の懈怠に基因するものとし職務の執行を二箇月間停止する旨其筋より申渡されたりと

●日露の連絡と運賃 [illegible]識の議題に上るべき特別運賃率を適用すべき貨物は左の如し
▲東清鐵道材木、麥粉、精酒、セメント、牛酪、鹽魚
▲南滿鐵道石炭、セメント、野菜、生[illegible]

月給を取る器械

▽ヘナヘナな人間で拵へる

此の頃は大變れ役所がれ忙しい如な、暑中休暇も抜きで執務時間も延長されてるそうだ夫れで格別官吏諸君に倦怠の色も見ねない、不平の聲もない、病人も出さない如だ、之れ明に官吏諸君の体力の强健なる程度が人間並であることを證據立てたものである、斯樣なことは申しても差支へないと思ふから申すが、實際の處今日迄は役人と云へば口先計り强くて身体はヘナヘナな野郎で拵へた月給取る器械と思はれて居た、何にしろ朝九時出勤の時は午後四時に、八時出勤のときは十二時に退く此の間でストーブにも寄らうし煙草も喫へば飯も食ふ雜談もすれば便所へも行くアミダも行れば茶も呑む食後には休憩もする机に倚つて居たからとて必ずしも仕事はせぬ働く振りをして手紙を書く長官の醜名の改刪に就いて凝議すると云ふ風で正味仕事を爲る時間は多くて四時間少なければ二時間だ、更に甚だしい長官とか云ふ者どもは一日の執務時間としては計數せられぬ一ケ月に何時間と云ふ程のものである、其の上に夏は暑いからと云つて休む冬は寒いからと云つて休む流行病があるからと云つては休む、加之に未だ假病をまで使ふて休む、而して夫れでないと身体が續かぬと云ふ、此れでは普通人の體格を備へて居らぬヘナヘナ野郎計りを集めて居たと思はれてたのも無理はない、然るに此度初めて國亂れて忠臣あらはるの格で統監更りて官吏も人間並なることが證せられたのは國家の爲め同慶の次第である、然るに此の當然なことを何か大した手柄でもあるかの如く新聞紙上に「水產局員等の繁忙」と題して掲せられて居る所許漁業出願者意外の多數に及びたる上許否を決する爲め水產局にては迅速に解決をなし出願者の利便を計らんと局員一同熱心に執務し正午の定期退出時刻なるをも顧みず毎日日沒時迄も居殘りて山積せる書類中に埋もれ酷暑と戰ひ居れり

右を以て通信此の同情に出でたるものとすれば可なるも當局者の談なりとすれば不心得千万である事件解決の爲めに居殘り執務するのは當然だ、執務に熱心なるべきも又當然だ、民人の利便を計るのは政廳本來の目的だ、一般民人は何時も自然と國家とに負へる義務を果さんが爲めに日沒時は扨置き多く日沒後迄も執務して居るではないか更らに彼の兵士に見よ、彼の巡査憲兵に見よ、彼等は炎熱と戰ひ時に疫癘と戰ひ、時に暴民と戰ひつゝある、官吏が今の如く人間並のことをするのを偉いことを爲る如く思ひもし振舞ひもするのが平民の不平を挑發し我國今日の社會主義を馴致した大原因であるのだ、幵は兎に角として官吏は月給を取る器械でない仕事をする人間であると云ふことを自覺せしむる必要がある(むの字)

力士の滿韓雜觀

▽宿屋と水の良い朝鮮
▽煙草と酒の安い滿洲

當地及滿洲を巡業したる東京幕下力士佐賀の海大吉は徴兵檢査を受る爲一行に別れ廿日午後歸京したりと其談に曰く「釜山に着いた時は見物人や出迎人やで車が通れず止むなく徒歩て宿屋に行く程の賑ひでした、一同は豫て朝鮮は水が惡いと聞いて居たので釜山の宿に着いた時も湯を飲んで注意してましたに風呂に入つて見るとどうでせう、蛇口からドンドン水道が噴出したのには驚かされました、京城の宿屋に着くと日本でも地方の宿屋で見た事のないやうな立派さ、室内電話はあるし風呂は綺麗だし恰で帝國ホテルにでも行つたやうな有樣です、安東縣では我々の体が大きいのを見て支那人は露西亞人に違ひないと承知せず常陸關や梅關を見て腰を拔す程吃驚してました、大連は馬鹿に馬車賃の廉いので我々も馬車に乘つて場所入をし、それに飛切の正宗が一升六十錢、麥酒一本十八錢の安價で煙草などはどんな取的でも金口や葉卷を吹してました、廿一日鐵嶺丸で大連出帆の筈でしたのを戰死者の追善興行があつたので命拾ひをしたと云ふので上陸してから飲む筈で買つて來た四斗樽二本の鏡を開き甲板の上で命拾の大酒宴をやりました」云々

退韓命令違犯者の逮捕

▽光化門前の捕り物

福岡縣博多市下立町十一番戸當時住所不定木村市事森増太郎(三〇)は明治四十年十月賭博罪に因り重禁錮一箇年に處せられたる曲物なるが渡韓後賭博を常業とし或は脅喝其他の非行を逞くするの故を以て明治四十二年五月退韓命令を受けたるも歸國せず各所を徘徊せるを以て同年九月退韓違犯として懲役一箇月に處せられ放免後又もや歸國せず本年四月再び同違犯にて懲役一箇月に處せられしも逃走して行衛を晦し時々出沒し料理屋飲食店を飲み荒すのみならず脅喝取財等をなすより其筋に於て行衛搜索中の處昨三日午前十一時頃西部署棚橋刑事は管内に潜伏し居る事を探知し逮捕の爲め同人の潜伏場所に赴きたるにぞ増太郎は棚橋刑事を見るや否必死となり飛び出したるより逃走してなるかと追跡し潜伏場所より約二十丁餘も隔りたる光化門前に至り遂に逮捕し本署に引致し目下取調中なれば詳細は後日の紙上に報ずる所ある可し

肉体美を發揮して殺さる

▽女の前にて裸體となる

七月二十七日午後三時頃高陽郡沙里大面に於て毆打致死事件ありたる顛末を記せんに加害者は宋文裕被害者は金相福なる者なるが同日加害者及被害者は附近の農民男女七八名と共に同里畓に至り田の草取りに從事中相福は裸體になり畓の横側なる小河に飛び入り體を洗ひ女の方に向き此れを見よと云はん許りなりしより之れを見たる文裕は憤慨して女の目前にて裸體となり隱し所を見せるは不都合なりと相福の腹部を蹴り或は頭部を毆打せし爲め被害者は翌二十八日遂に死亡するに至りたるより文裕は毆打致死罪として京城地方裁判所檢事局に送られ目下取調中

有難さに坊主になる

▽鐵嶺丸遭難助命者

廿七日天草丸にて門司着の大相撲一行は豫報の如く廿九日紀州和歌山に乘り込み三十日初日にて四日間次は江州長濱に於て三日興業し更に靜岡へ乘り込む筈なるが關取分は靜岡興業後一旦歸京する事になるべし此の一行は好運にも沈沒船鐵嶺丸に乘り後れて無事歸國するを得たると既報の如くなるが同船は鐵嶺丸の危險の外一度は航海中濃霧に會ひ大連行の商船會社溟船嘉義丸と巳での事で衝突せんとせしとあり船長の氣轉にて僅か二分間の所で衝突を避け得たるより一同重ね〳〵の幸福を祝し居れり又た相撲好きの東京柳橋堺屋の綱子の姉キナ子は大連の相撲を見物して鐵嶺丸にて歸途に就き彼の遭難者となりしが九死に一生を得て二十九日門司に着したるもあまりの有難さに坊主になれりと



女振り

進辰馬氏夫人
進はな子

進辰馬君が龜屋の主人である位は誰れでも知つて居るが併し故伊藤大勳位の瞬馬で文學博士で韓太子教育掛たりし末松青萍男の書生をして居たことはタント知つてるものがなからう、福岡縣企救郡足立村に籍を有する士族である、聞く所に依れば末松男とは縁者だそうな、本年は四十三の男盛りだ、四十二の厄年たる昨年十一月廿七日長女のふぢ子さんは九歳を一期として死の手に奪ひ去られた、爾來進君九星家の云ふことも滿更馬鹿にはならないと酷く感ずつて居る、夫人はな子は本年二十九御縹緻はれ立會の皆さんが先刻御承知の通りれ美しい、然るに況んや加之モ一つれ加けに持參金迄あると云ふのだ、諸君話しを聞いた丈けでも胸が充溢になる如な氣がするだらふ、而して加ふるに例の如く夫れとなく店員の接客振りを監督指導するさ云ふ働き人たるに於てをや、何うか左樣な方があつたら待つて居ますから女振り子に周旋を願ひ度いものである、閑話休題はな子夫人は東京の産で彼の大倉喜八郎君の手許に行儀見習として上つて居たものである、嫁入當時の條件に店舗と住居は別なること而して自身は住宅の方に起臥すること、とあつたが進君の内交手腕が如何に輕妙洒脱であつたか夫人は遂に甘んじて店舗に起臥して御座ること前途の通りである、勝ちやんが長男で七歳淳ちやんが二つ。

甜瓜を食つて喧嘩

▽五厘の事から大騷動

熊本縣飽託郡中原村千六十七番地平民當時黄金町二番戸山本萬春方理髮職村上萬喜(二九)は昨二日午後八時頃何處よりかの歸途李總理大臣邸前にて南部亭洞七十四統四戸金七福(二三)が甜瓜を店に出し居るより代價を問ひしに大一個二錢五厘小一個一錢五厘なりと云ふより所持金二錢あるを以て小なる方を食ひ二錢を出したるに金七福は小が二錢五厘なりと變言し五厘不足なりとて請求するより村上は何に不埒な事を言ふか只今大を二錢五厘なりと云ひ小なる方は一錢五厘と云ひしにあらずやと金七福の面部を突き鼻より出血せしめたるより双方掴み合となり附近三四の韓人は打ち集り村上を袋叩きにしたりとて鍾峴分署に持ち出し取調の結果双方惡しきに付說諭の上放還されたりと云ふが詰らぬ奴もあつたものなり

●普通文官試驗　昨紙平民文庫子は一讀者の問に答へて近くは普通文官試驗はないと云つたが右は文庫子の誤りで八月廿二日より執行せらるべく志願書は八月十日迄に試驗委員長石塚英藏宛提出すべしとある詳細は其の向へ問合はさるべし此段訂正す

●賭博犯の不起訴　本月二十日の紙上に賭博現行犯の逮捕と題し報導せし福岡縣人當時曙町加藤熊吉(二八)福岡縣人當時大和町三丁目遠藤茂一(二七)大分縣人曙町三重あり(二七)山口縣人曙町南部熊雄(二五)の四名が去月十八日南部熊雄方に於て車座にて賭博を爲し現行犯を南部署に檢擧せられ檢事局に送られし事は既報の通りなるが秋場檢事の手にて取調中の處微罪にして刑罰を付する丈けの價値なきを以て訓戒して不起訴となり放免せらる

●横領犯人の逮捕　仁川花町二丁目居住の正司由太と云ふは諸品の仲買業を營み委托販賣業を兼ねて稍や信用を博し來りしが委托を受けし物品を三百餘圓にて他に轉賣しながら其金を委托者に還らずして拐帶汝山に逃走したるを同地駐在の憲兵隊の手に捕へられ仁川署に護送取調べの上三日檢事局に送られたり

●遭難者死体發見　鐵嶺丸遭難乘客及び伊藤船長以下九十餘名の死体搜索は其後極力續行せられ居れるが三日左記二名の屍体を發見せる旨同夜大阪商船會社仁川支店に來電ありたり

鐵嶺丸乘組一等機關士　平柳芳輔
茨城縣那珂郡港町一一六四　照沼勇次郎

●殺傷事件の公判　仁川公園下殺傷事件の加害者なる前科四犯の惡漢桐川庄市に對する傷害罪の公判は三日午前十時より仁川裁判所第一號法廷に開廷せらるゝ筈なり

●大清潔法の勵行　仁川署は民團と協力し五日より夏季大清潔法の勵行に着手し各衛生組合廿一區に涉り同十一日結了すべき豫定なりと云ふ

目と耳

▲浪花館　廣八一座四日の代り番組　御祝儀寶の入船(入登)太功記ゆう顏棚の段(廣吉)三勝半七酒屋の段(越濱)太功記十段目(此重)鏡山五つ目又助住家の段(此千代)梅川忠兵衛二の口村の段(仙春)玉藻前三段目(隅照)三十三間堂平太郎住家の段(越春)本藏下屋敷の段(廣八)大切伊勢音頭油屋の段(總掛合)三味線(豊澤仙平)

▲壽座　四日源氏節芝居一座の代り狂言は前『れ國歌舞伎界物語』切『万代曾我廓達引』にして重なる役割左如し　豆腐屋三郎、助六(美高)與右衛門、大臣(尾之吉)累(淺吉)坊主才念(菊枝)金五郎、幾助(福司)歌方姫、揚卷(花尾)善六(照代)頼兼公、太鼓持(壽々子)與之助、太鼓持(福吉)れてぼ、若者(金福)諸士、若者(花子)仕出しかむろ(美化丸)仕出しかむろ(君子)源氏節出語り(美家登司)

●中券藝妓の席順　京城の新橋を以て任ずる中券藝妓七日中の席順半數が程を列擧せんが消華の今奴の筆頭に上りしは少々危險な意味あるらしく井門の雛子之れに次ぎたるは可愛らしき爲めか花月の花奴の四番は當然に掬翠の駒ケ嶽の五番目は正眞正銘の腕の働きなるべしと判つた振りをして澄いて一味徒黨の連判帖を繰り展げてた日に掛け申すべし

今奴(清)雛子(井)政菊(清)花奴(花)文之助(掬)秀子(掬)やん茶(掬)小高(花)勝子(同)靜子(掬)辰子(花)た多福(清)玉千代(同)若一(花)笑太郎(掬)君江(花)鶴香(井)一奴(花)勝治(同)れ染(掬)蝶々(蝶々)丸子(清)大助(同)れ茶羅(花)駒榮(松)ふく(花)金彌(花)梅吉(掬)三太(清)れ圓(花)はな(同)艶子(同)右女之助(掬)君子(同)多美(花)江戸奴(掬)福助(清)花蝶(掬)福奴(花)

●仁川藝妓の席順　七月中に於ける同藝妓連の何や彼やの賣上高に依る席順十番迄を御披露申さん

福助(松山樓)玉勇(咲太郎改め福太郎)笑子(以上鮮)米蝶、久子、小富美、一昇(以上一富士)小勇、富美子

今日の運勢

八月四日　舊六月廿八日　二黑先負　辛丑　破　△一白●新事見合せ●保證受印を禁ず情義の爲め危地に入る勿れ△二黑●新事見合せの事盜害遺失賭事其他射倖的行爲効なし△三碧●事業始め開店行商旅行入學門に吉酒色の害を戒しむ△四綠●金品授受證券印章の事故障起り易し尚勤務累あり△五黄●世話引受保證事を禁す家族家庭の事係累煩累あり△六白●快欣の日大抵吉療病衛生に留意すべし△七赤●利潤を得る日なり尚婚談屋入れ飼畜に吉△八白●改革整理旅行輸任に吉其他平凡△九紫●婚談養子面接共同請願に吉建築動土に凶

●天氣豫報(自三日午後六時至四日午後六時)　西の風晴

二日(華氏)　最高溫度　八八、九　最低溫度　七四、七